

新屋小で授業

## 高商大学生と 森の働き学ぶ

甘 樂

高崎商科大の学生が  
森の働きについて教え  
る授業が16日、甘楽新

屋小であった。4年生40人が、  
土砂崩れを防いだり水をきれ  
いにしたりする森林の役割を  
学んだ。

同大の3、4年生20人が林  
野庁が作成した教材を使って  
教えた。児童は班ごとに感想  
をまとめ、「写真」「水を飲む  
ときは森から来ていることを  
意識したい」「間伐して日光  
を当て、木を強くすることが  
大切だと分かった」などと発  
表した。

授業を受けた山田優大さん  
は「大学生が優しく教えてく  
れて分かりやすく勉強でき  
た」と話した。

同大は2021年、日本名  
水百選「雄川堰<sup>よこがわぜき</sup>」の水源で採  
取したボトルドウォーターアー  
ト、「かんらの天水」を町と共同  
開発。森の大切さを伝えよう  
と、町内の小学校で授業を続  
けている。

(丸山卓郎)

令和7年10月17日掲載

